

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤真弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・高橋 潔・高橋利春
屋代 健・飯泉隆史・太田匡哉
山内芳次・近藤龍弘・近藤マリ子
近藤久美子

印刷・株式会社印刷



ホームページ



Instagram

『脈々と伝わる』

泰忍 弘



『拈華微笑』



『慧可断臂』

ご家族の皆さままでご覧ください

今年の夏は経験したことのないような酷暑の日々が続き、全国ニュースでもしばしば長岡の暑さが取り上げられました。日本だけではなく国連の事務総長が地球は「温暖化」の時代から「灼熱化」の時代になったと警告していました。九月になれば暑さも和らぐかと思っていたら長期予報ではまだまだ猛暑日が続くとのこととです。

しかしながら、猛暑・酷暑の中でも八月のお盆の期間は少しでも暑さをしのごうと早朝や夕刻に多くの方々が墓地の清掃に来られ、十三日は朝から夜まで絶えることなくお参りの方が大勢お越しになり、亡き人やご先祖様を想う気持ちに大変ありがたく感じました。さて、そんなお盆のさなか、本堂にお参りに来た方に本堂正面の欄間彫刻の意味を尋ねられました。写真の欄間です。

これは東序側(正面向かって右)は『拈華微笑』、西序側(正面向かって左)は『慧可断臂』を表しています。

『拈華微笑』とはお釈迦さまが霊鷲山で華を拈つていると、他の人々はその意を理解できなかったが、摩訶迦葉のみは理解して微笑した。そこでお釈迦さまは、言語で説明できない仏教の真理が摩訶迦葉に伝わったと告げた、という説話です。以心伝心によりお釈迦さまの法が初めて伝わった大切な場面です。華を持つたお釈迦さまが右側に彫られています。

続いての『慧可断臂』とは中国禅宗の初祖である達磨大師の法を二祖慧可大師が受け継ぐ際の逸話です。慧可大師は十二月九日雪の降る中、達磨大師に対して自身の左臂を切断し求道の意思を示しました。即ち断臂とは臂を断つこ

とです。この様子を描いた水墨画の巨匠雪舟の「慧可断臂図」も有名です。安善寺でも慧可大師の求法の情熱を慕い、祖恩に報いるべく毎年十二月九日に「断臂報恩攝心」の坐禅を行っています。

禅宗では師から弟子に法を伝えることを特に重んじています。お釈迦さまから脈々と受け継がれてきた法は何にも代えがたく大切なものです。自身の命に例えるならばご先祖様の誰か一人でもいなければ、現在の自分自身はこの世に存在いたしません。ですからご先祖様を大切にすることが如き我々僧侶は法を伝えてきてくださった祖師方を敬い大切にいたします。本堂の一番目に付くところにこの彫刻がほどこされていることもその由縁です。

是非本堂にお参りの際は欄間をご覧ください。



【特集①】

長岡まつり大花火大会について

長岡花火財団 理事長 高見 真一

今年の長岡まつり大花火大会におきましては、たくさんの皆様楽しんで頂き、事故無く実施することができたことを心から嬉しく思っています。一層力をいただいた関係者の皆様、協力していただいた市民、企業、すべての皆様に感謝を申し上げます。

8月1日は朝から平潟神社の慰霊祭、昌福寺様における墓前法要、アオーレでの平和祈念式典、平和フォーラム、柿川灯籠流し、大手通りでの平和祭、空襲の始まった時間上がる「白



復興祈願花火フェニックス



正三尺玉とナイアガラ

菊」花火と、従来の長岡まつりが戻ってきて、改めて長岡まつりの持つ慰霊、復興、平和への思いを強くしました。

大花火大会では、花火師のセンス、技術が一層磨かれ、一つ一つ、一台一台の花火がますます美しく進化していることを実感するとともに、余韻をもって消えていくしんなりとした長岡花火らしい花火もあつて、私自身、主催団体の者ではありませんが、打ち上がる花火を見て幾度も涙したところです。

大会運営においては、チケットの市民先行販売や、会場の全席有料化など、昨年来の取組を今年も進め、幸い大きな混乱は無かったものと認識しております。一方で一部のチケットを誤送付するというミスがあり、再送付が間にあつたとはいえ皆様にご心配をおかけしたことをお詫びするとともに、今後はさらにしっかりと準備をしまいたいと思っております。

全席有料化については、心苦しい面もあるのですが、現実的に観覧者の安全確保などの観点からは必要であり、実際に、長時間の場所取りによる熱中症や雑踏事故などのリスクを避けることができ、また、むやみに侵入する車両による交通渋滞も回避できるなど、安全で円滑な運営に効果がありました。来年も、金曜日、土曜日開催ということは一層の人数が予想されることから、有料席については基本的には今年同様とさせていただきます。

たいと考えています。

花火大会の運営を、長岡花火財団が引き継いで7年目、2回の中止がありましたので今年も5回目の花火となりました。

財団は、花火大会の事業規模が概ね10億円にもなる中で、様々な契約行為などを法人格のある組織で行う必要が生じたこと、協賛金とチケット収入での事業実施を基本としており、市の予算とは独立した運営が合理的であったことなど実務上の要請と、通年で長岡花火の想いの普及活動や、長岡花火の一層の価値の向上のための関連事業を、商工会議所、青年会議所など関係機関の代表を役員に迎えた組織で、オール長岡で実施していくことを目的に設立されたものであり、これからも、関係機関と連携し、さらに花火大会の改善、活動の充実を図っていきたくと考えています。

安全な花火大会の実施のため、会場設営や警備などについては、警察等とも協議しながら充実させてきており、経費も大きくなってきました。他地域の花火大会では予算確保が難しく中止に追い込まれるところもあると聞いており

ますが、幸いにして長岡花火は、たくさんの方々に協賛いただき、多くの方々にチケットを購入いただいたっており、今年の花火大会も、現在、精算作業中ではありますが、収支はきちんと収まる見込みです。一方で、材料、労務費用等の上昇により、煙火事業者や各種事業者の負担は大きくなっており、来年度に向けては、そうした状況も見極めながら準備しなければならぬと考えております。

いずれにいたしましても、日本一の花火、美しさもスケールもマナーも日本一の花火として、長岡花火がいつまでも長岡の夏の夜空に輝き続けるよう、市民の皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

安善寺様におかれましては、長岡花火はもちろん青少年の国際平和交流も含め平和の想いを広く伝えることにつきまして、これまで大きなお力を頂いており、深く感謝と敬意を表するとともに、引き続きのご支援をお願いする次第です。

財団ではすでに来年の花火の準備も始めています。来年の花火大会も、ぜひ、楽しみにしてください。

【特集②】

「安禅寺のご開帳」が見せたもの

昌興寺住職 石田 哲彌 (新潟県文化財保護連盟理事)



葵の陰陽の御紋の高杯



毘沙門堂



菊の御紋に3星の入った棗

先般、蔵王堂城趾の一角に鎮座する安禅寺でご開帳が行なわれた。安禅寺はかつて北陸の霊場、蔵王権現を管理した別当寺である。元来は修験道であるが、当初は天台宗、途中で、上杉謙信によって真言宗に改宗させられ、江戸時代にはもとの天台宗に戻され、徳川家の菩提所、寛永寺の直末となり、強大な権勢を誇った。明治に廃寺にされたが、その後復活した。このような複雑な歴史から貴重な仏具を発見。菊の御紋に3星の入った棗(なつめ)と葵の陰陽の御紋の高杯(たかつき)である。いずれも徳川幕府と蔵王権現



伝行基作の阿吽像

をつなぐ接点であり、妙徳院の存在を実証する有力な遺品でもあった。妙徳院は栃尾城主、本庄秀綱の娘。祖父は上杉謙信の育ての親。御館の乱によって栃尾城は陥落した際、妙徳院は乙吉の龍穩院に匿われた。その後、蔵王堂城主堀直寄に見いだされ、さらに上野の下屋敷において将軍徳川秀忠と出会う。そして生まれたのが後水尾天皇の妃とまた二人の間に生まれたの親王が第109代 明正天皇である。まさに妙徳院は公武合体の陰の立役者であった。彼女は將軍秀忠の逝去を機会に大奥を引退。天海僧正のもと

で剃髪、宮中に参内、娘の東福門院和子・孫の明正天皇に謁見したあと、蔵王堂に隠棲した。2品はこうした華々しい歴史を語る貴重な遺品であった。
なお、蔵王権現(安禅寺)は、平安時代中期ころ栃尾・楡原に勧請され、12坊を有する地方道場として栄えた。秋葉三尺坊もこの道場で修行。秋葉信仰の開祖となった。平安時代末期に急襲され、寺泊町矢田に遁走。鎌倉時代中期に信濃川河畔の又倉に遷宮。北国の霊場として栄えた。いわば蔵王権現(蔵王堂)と安禅寺は長岡市の原点ともいえる寺であった。

シリーズ 旅に 行きたい!! 第8回

初めて海外に行く人にはお勧めの台湾

新潟ビーエス観光 飯泉 隆史

まだまだ残暑が厳しいなか、皆様お盆休みはどのように過ごされましたか？

今年は4年ぶりに通常のお祭りや催事が戻ってきました。まさかのお盆直撃の台風もありましたが、旅行もインバウンドで日本中外人だらけですね。4月ですが京都の清水寺に参拝したときには日本人の観光バスは我々のバスだけで



十分のレトロな街並み

した。浴衣を着ている外人が多く見られました。とても華やかでした。逆に日本から海外へ旅行に出かけられた日本人はお盆期間で120万人。前年の3.7倍になるそうです。コロナ前のピーク時に比べると7割ほどといったところですが本当に増えましたね。私が最近海外に出かけたのは3月の台湾でした。台湾は気候的に

は沖縄に近く、寒い時期にも過ごしやすい国です。観光地も見所は沢山あり、また食事は中華がメインになりますが、様々なジャンルを楽しめます。日本語が通じるどころが多く、日本でなじみのコンビニに加え、日本の商品が沢山あり、人によっては海外に来た感じはあまりないかもしれません。私は台湾大好きです。今回は少し台



九份の石段や狭い路地



台北のランドマーク「台北101」

湾での旅行をお話してみたいと思います。

旅行の起点となる空港や都市は台湾北部の首都台北となり、ながら東京の様です。交通量もかなりあります。台北での見所は世界三大博物館のひとつ故宮博物院。ここでの有名な作品はヒスイでできた白菜と石でできている豚の角煮。一度も見てみてください。そして蒋介石を記念して建てられた広大な建物「中正紀念堂」。台湾の護国神社「忠烈祠」。近衛兵の交代式は見所の一つです。台北のランドマーク「台北101」は、508メートルの超高層ビルで地下にはショッピングモールがあります。そして忘れてはいけないのは夜市。沢山の屋台がでて食べ歩きが楽しい、射的などの娯楽もあり、毎日が縁日のような賑やかな市場です。この度は士林夜市に行き、屋台での夕食でしたが、ここでの食事がおいしくていまだに忘れられません。

台北郊外に目を向けると有名なところで九份があります。かつて金鉱発掘の街としてゴールドラッシュを迎えていましたが、現在では石段や狭い路地、赤い提灯が特徴的なレトロな雰囲気を醸し出す

街で「千と千尋の神隠し」のような雰囲気が味わえます。ぽーっと歩いてみると迷子になります。そしてもう一つは十分。街の近くに台湾のナイアガラと呼ばれる十分瀑布があります。まあまあ滝です。

十分の街並みもレトロな感じで見みややく、店と店の間の街の真ん中に線路が通っていて店スレスレのところを電車が走っているもの見ものです。ここではランタン上げが有名で、それぞれ願い事を書いて空に挙げていきます。滅多にありませんがバランスを崩して落下してしまうことがあり、今回自分達が上げたランタンは危うく落ちるところでしたがバランスを取り戻し、大空へ上っていききました。他にも台中や台南など見所は沢山あります。フライトも4時間くらいで気軽に行けて親日国でもある台湾は初めて海外に行く人にお勧めです。海外旅行も賑やかにしてみてください。旅行は行けるうちに、行きたいと思ったときに行きましょう！

■旅のご相談・お申し込みは
新潟ビーエス観光まで

TEL 0258-34-4848

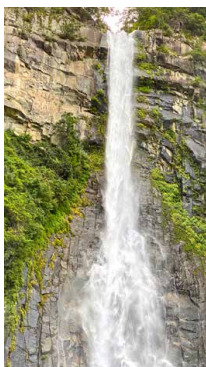
東堂和尚のつぶやき

この夏は、今後の地球温暖化、異常気象の多発を覚悟

私の子供の頃は、檀信徒の皆様が夏場、本堂に來られると「お寺は涼しいですね」と、よく言われました。八月一日の盆参法要には、法要・お斎の後、本堂でごろ寝をされてから帰られる人も大勢おられました。

例年、お盆前の十一日頃から、秋の虫の音が聞こえ始めましたが、今年は八月末になっても聞こえません。長岡は雨がほとんど降らず、連日の酷暑。各家庭におかれましてはクーラーなしでは熱中症になりかねません。本堂にはクーラーがないため、早朝より戸や窓を開け広げても、畳も暖かく、扇風機も熱風で、法要後や墓経の後は全身汗まみれ、一日二・三回シャワーを浴び替える日が続いています。お参りの方々も大変な事とおもいます。

気象庁では気温や降水量など、原則としてある場所(地域)・時期(週、月、季節)において三十年に一回以下で発生する現象を「異常気象」としているそうです。今夏、七月後半以降の記録的な猛暑について、気象庁の異常気象分析検討会は、八月二十八日に「今年の気温は歴代と比較しても圧倒的に高く、夏全体でも異常気象だった」との見解でした。「異常気象」は、数ヶ月程度の変化を指すのに対し、「気象変動」は、もつと長いスパンでの変化で、十年から数十年と、人の一生、またはそれ以上の期間での変化を示す場合があり、平均気温の上昇、真夏日、猛暑日の増加、激しい雨の頻発、干ばつ、大雪の増加などがあるようですが、地球温暖化が進んでいる今日、今後も異常気象が多発することを覚悟しなければならぬ地球になりました。



猛暑の中、八月二十五日より三十数年来の仲間と南紀白浜の旅をしてまいりました。

熊野本宮大社・熊野那智大社・青岸渡寺・那智の滝等々、神社仏閣の参拝、途中に熊野古道を少しだけ歩きました。五十歳頃、安善寺の団参で高野山・道成寺等、坂道、石段等を当時は平気で歩きましたが、年齢と暑さも加わり、全身汗ビッシヨリ、足はガクガク、初めて使った杖の助けでなんとか古道の一部を歩く事が出来ました。

途中、平安衣装を身につけ記念写真も、思い出の一枚になりました。

安善寺よろず掲示板

『寺行事予定』

『吒呷尼尊天秋季大祭典』

九月十八日

『秋季彼岸会』

九月二十日

『慈雲塔供養』

九月二十六日

『慈悲塔供養』

九月二十六日

『秋季彼岸会』

入り歎仏法要
中日施食法要
明け歎仏法要

『大本山總持寺とフードバンクにお米を送る運動』

本年も大本山總持寺とフードバンクにお米を送る運動を実施致します。

ご協力いただける方は十月二十五日までにお寺にお持ちいただくか、御連絡をいただければ取りに伺います。

詳細はお尋ねください。



仏さまのおすそわけ 数珠つなぎフードパントリー

～誰ひとりとり残されない世の中に！お寺を提供の場へ～

食材や日用品の提供にご協力ください！！

* 詳細はお寺にお尋ねください *

主催：長岡市仏教会青年部
協力：新潟県フードバンク連絡協議



安善寺 庭園型樹木葬 『翠緑の小径』

- お盆に樹木葬墓地で御法要
- お盆でもお申込みいただけます(預託に代わりお盆にのみ)
- 高麗香がいたで安心(永代性保証)
- 3年間の墓内内、だから安心して永代やすらぎをお贈ります
- 成人3歳まで個別にお祝いをします

【お問合せ】株式会社 放光
フリーダイヤル 0120-811-112

安善寺 樹木葬墓地ご案内ページ
<https://anzenji-jyumokusou.com/>





今年の酷暑は

みんなのおかげで乗り切れた！

ありがとニャ〜ん！



毎日続く酷暑に私もビビもぐったり。それに引き換え真人君と悠真君は夏休みを満喫して元気がいっぱいでした。

お友達と海へ行ったり、花火大会をしたり、近所の子供達とお泊まりしたりと、休みなのに普段よりも忙しそうにしています。日に日に小麦色になっていく二人を見てみると、こちらまで外に飛び出したくなりました。が、そこは猫。ベランダからの熱風を感じただけでギブアップです。少しでも冷たい場所を探して、床にベタ、タンスの上にベタ、

そして見つけた最高の居場所はひんやりとしたキッチンカウンターの！久美さんはぶつぶつ文句を言いながら狭いキッチンで料理をしています。困らせるのは私だけではありません。

近頃のビビは朝早くからにゃーにゃーと鳴き続け、昼はソファで爪とぎタイム、夜中には廊下を走り回り、また鳴き始める。眠りの浅い久美さんは毎日寝不足で、朝から「疲れがとれない」と嘆いている。そんな疲れをとるために子供達を連れて帰省した

はが、子供達の遊びたいパワーに振り回されてクタクタになったらしい。大変なのは家に残された私達も同じ。ご飯は？ 水は？ 私達の救世主、マリ子ばあばが日に何度も私達を見に来てくれ、他にもウサギ達や、新たに加わった金魚達のお世話までしてくれました。本当にお世話になりました。感謝を表すのに私ができることは毎回階段の上でまぢぶせし、「にゃー♡」と鳴くことだけ。この気持ち伝わったかしら？

ありがとニャ〜ん！



アンの最高の居場所 キッチンカウンター



ビビは、朝、昼、夜と活動的

第一〇四号は令和六年一月一日(月)発刊予定です

編集 雑感

お盆を過ぎたというのに残暑という言葉で言い表せない暑さが続く令和5年の8月となりました。この夏は新潟の市町村が全国一位の最高気温を記録する日々が続く異常な暑さでした。冬は雪が降らず日本アルプスが夏はフェーン現象をもたらして35度を超える気温になるなんてすごい地域だとあらためて思いました。

今回の編集会議では来年度から郷土史家の方に安善寺のある神田地域の歴史について寄稿をお願いしました。昔の神田のことを知ることができると今から楽しみにしています。私は小学校で学んだ歴史上の人物のイ

メージが歴史小説を読んで変わったことがあります。司馬遼太郎さんの国盗り物語を読んで明智光秀が君主を裏切った謀反者だけではなくとも頭の切れるやり手だったと感じたり、池波正太郎さんの西郷隆盛を読んで越後にとっては官軍ですが西郷さんが身分などには興味のない人情家だったと感じたり。今度の企画でも私の知らなかった地域の歴史を学ぶ機会になればと願っています。

ちょうどこの季刊誌が発行される9月には新しい新型コロナワクチンの追加接種が始まるようになっていきます。従来株とオミクロン株の2価ワクチンからXBB株の1価ワクチンです。種類が多く医療者でも混乱します。全国民が無料で追加接種を受けられるのはもしかしたら今回が最後かもしれない。今後はインフルエンザのように希望者が無料で年1回の接種をするようになっていくのではないかと予想しています。回数を重ねる毎に接種希望者は減っておりますが今回が公費でのワクチン接種は最後かもしれないと思って希望者への接種を頑張りたいと思います。最後かもしれないから打っておこうかと思っただけはかかりつけの先生に相談してください。(天田 匡哉)

お便り原稿用紙

皆様からの原稿をお待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仕事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。

FAX 0258-32-2870

〈原稿送付先〉メール info@anzenji-nagaoka.com

HP にも申込フォームがあります